学校番号	112

令和８年度　数学科

教科	数学	科目	理数系 数学演習	単位数	６単位	年次	３年次
使用教科書	なし						
副教材等	改訂版　ベーシックスタイル　数学演習Ⅰ・Ⅱ・A・B・C〔ベクトル〕受験編(数研出版)						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・授業では「自らが考え課題を解決する活動」「人と協働して課題を解決する活動」を行います。
・授業用ノートと問題集用ノートを必ず作ります。
・授業用ノートは，板書を書き写すだけでは，評価されません。解法のポイントや，気づき，クラスメイトの発言，疑問点などもしっかり書きましょう。
・毎時間の振り返り（リフレクション）を求めます。振り返りを次へ活かしましょう。
・問題集の問題は，まず自力で解きます。その際，答えの導き方が分かるように途中式や求め方も書くようにします。そして，自分で答合わせをすることで，正解の場合は振り返りを，間違いの場合は自分のつまずきを知ることができます。
・復習や予習の家庭学習は絶対に必要です。そのため，宿題・課題を与え提出を求めます。最後まであきらめずに取り組んでください。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
問題解法の基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに表現・処理したりする技能を身につける
【思考力、判断力、表現力等】
基本的な考え方を組み合わせて使い、問題を統合的・発展的に考察する力を養う
【学びに向かう力、人間性等】
粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度を身につける

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身につける	自分の考えを述べるだけでなく、他者の解法を比較することで、お互いの良い点を理解・共有するようにする。さらに、解法の過程を振り返ることで総合的・発展的に考察したりする力を養う	問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度。数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深め、評価・改善しようとする態度や創造性の基礎をみに着ける
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
一学期	数学１Ａ・ⅡＢＣ	２次関数・データ分析 場合の数・確率 整数の性質・図形の性質 図形の計量・三角関数	a:基本事項を思い出す 例題(Style)を理解する b:類題(Same Style)を解く ことができる c:実践問題(Complete)を解き レポート提出	小テスト 定期考査 等	レポート 定期考査 等	繰り返し 回数表 レポート
	数学１Ａ・ⅡＢＣ	数列　　数学１Ａ復習 微分・積分 指数関数対数関数 図形と方程式 複素数と方程式	a:基本事項を思い出す 例題(Style)を理解する b:類題(Same Style)を解く ことができる c:実践問題(Complete)を解き レポート提出	小テスト 定期考査 等	レポート 定期考査 等	繰り返し 回数表 レポート
二学期	数学１Ａ・ⅡＢＣ	数１Ａ復習 数ⅡＢ復習 数学Ｃ演習	a:基本事項を思い出す 例題(Style)を理解する b:類題(Same Style)を解く ことができる c:実践問題(Complete)を解き レポート提出	小テスト 定期考査 等	レポート 定期考査 等	繰り返し 回数表 レポート
	数学１Ａ・ⅡＢＣ	数１Ａ復習 数ⅡＢ復習 数学Ｃ復習 補充問題 総合問題	a:基本事項を思い出す 例題(Style)を理解する b:類題(Same Style)を解く ことができる c:実践問題(Complete)を解き レポート提出 つづいてこれまでの知識を総合的に活用する問題演習を行う	小テスト 定期考査 等	レポート 定期考査 等	繰り返し 回数表 レポート
三学期	数学１Ａ・ⅡＢ	補充問題 総合問題	a:基本事項を反復練習 b:例題の解法を反復練習 c:これまでの知識を総合的に活用する問題演習を時間に制限を設けて実施する	小テスト 定期考査 等	レポート 定期考査 等	繰り返し 回数表 レポート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度